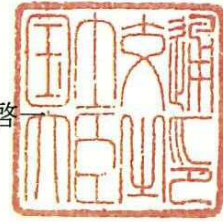


認定書

国住指第 3534 号
平成 31 年 2 月 18 日

フネンアクロス株式会社
代表取締役 深堀 光二 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-1046
2. 認定をした構造方法等の名称
遮音材付給水管・排水管繊維混入セメントモルタル被覆合成樹脂管／ロックウール充てん／壁準耐火構造／貫通部分
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

遮音材付給水管・排水管繊維混入セメントモルタル被覆合成樹脂管／ロックウール充てん／壁準耐火構造／貫通部分

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ229mm以下)
	面積	0.0412m ² 以下
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の総計の割合)		80.6%以下
配管と壁との隙間寸法 (クリアランス)		11~18mm
貫通する壁の構造等		建築基準法施行令129条の2の3第1項第一号ロの規定に基づく準耐火構造(60分)又は建築基準法第2条第七号の規定に基づく耐火構造(60分)(ただし強化せっこうボード及び軽量鉄骨下地に限る)厚さ100mm以上

3. 構成材料の仕様：

構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 構成材料の仕様

項 目	仕 様	
遮音材	材料	仕様：あり又はなし 合成樹脂張多孔質材 構成：①~④の組合せ ① 非公開 ② 非公開 ③ 非公開 ④ 非公開
	厚さ	非公開
充てん材	材料	ロックウール(JIS A 9504)
	密度	150kg/m ³ 以上
	充てん量	隙間に密に充てん (両面側から壁厚方向25mm以上)

表3 配管の仕様

項目		仕様			
配管 (排水管)	直管 (耐火二層管)	外管	材料	繊維混入セメントモルタル	
			形状	円筒	
			組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント	75 (±7)
				無機質混和材・軽量骨材	21 (±6)
				有機質繊維	4 (±1)
				但し、無機質混和材： 非公開 無機質軽量骨材： 〃 有機質繊維： 〃	
		密度	非公開		
	寸法	近似外径	φ37～φ193mm		
		近似厚さ	5.5～8.5mm		
	表面処理材	材料	あり又はなし アクリル樹脂系		
		質量	非公開		
	内管	材料	種類：①、②又は③ ①硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741、JIS K 6742) (VP、HIVP又はVU) ②耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6776) (HT) ③リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (JIS A 9798) (RF-VP)		
			寸法	寸法	φ165mm以下
		厚さ		8.9mm以下	
	空間成形材	形状	シート又はリング		
材料		仕様：あり又はなし ①～④の一又は、①と②～③のいずれかとの組み合わせ			
		①	非公開		
	②	非公開			
③	非公開				
④	非公開				

5. 構造説明図：
構造説明図を図1示す。

単位 mm

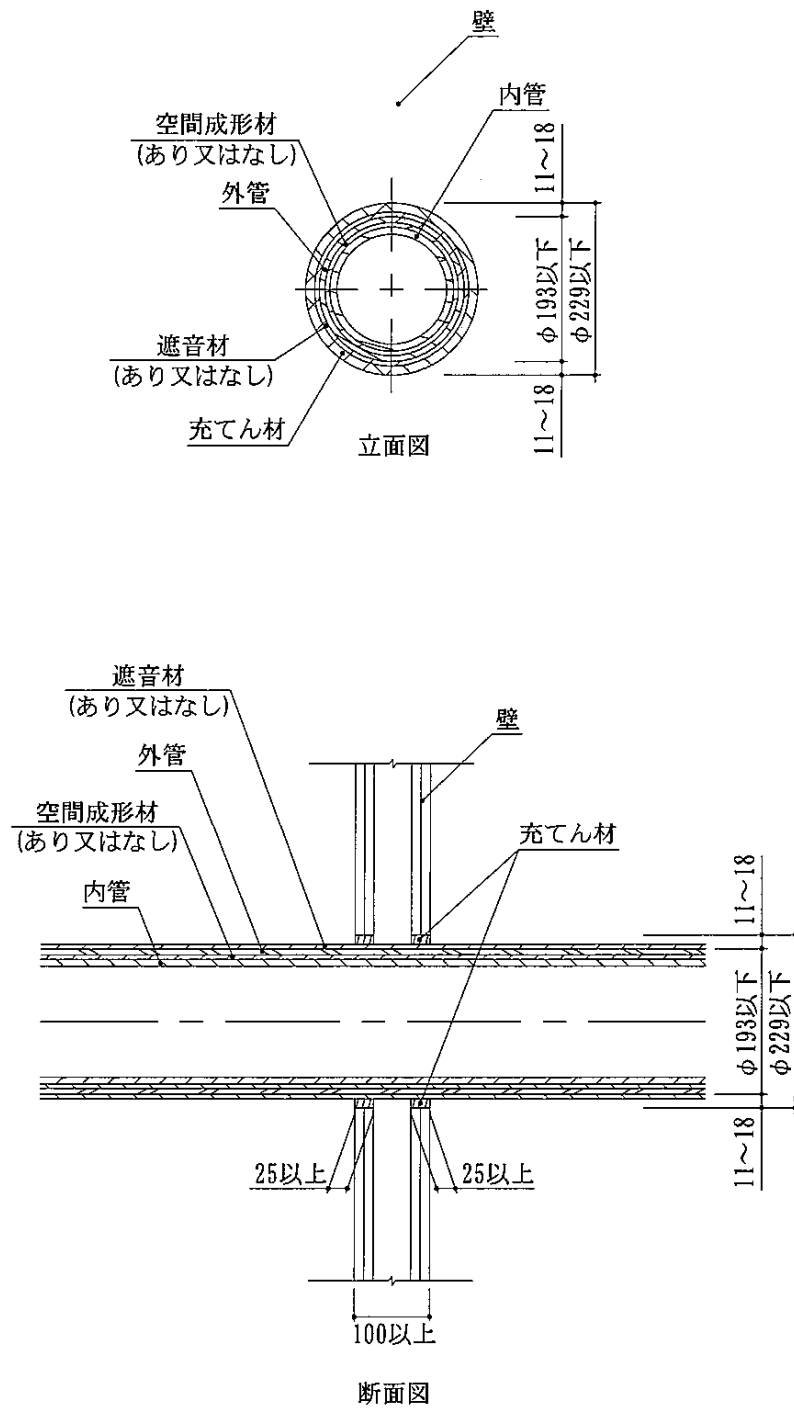


図1 構造説明図 (施工図)

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 開口面積、占積率の確認

配管図に基づき配管の設置状況及びサイズを調べ、開口面積・占積率を確認する。

(2) 配管の設定

直管を所定の位置となるように設置する。

(3) 貫通部の埋戻し

配管と開口部の隙間に充てん材（ロックウール）を密に充てんする。施工上必要な場合は、両面に盛り上げ施工とする。

(4) 配管支持

配管支持は、耐火二層管に定められた支持施工方法に準じて行う。